

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-21959(P2013-21959A)

【公開日】平成25年2月4日(2013.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-006

【出願番号】特願2011-158991(P2011-158991)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 M 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

核酸を含有するサンプルの超音波処理をする手順、
吸着担体により前記サンプルに含まれる物質を吸着する手順、及び
電気泳動により移動する前記核酸を堰き止めることで前記核酸を濃縮する手順の各手順
を同一セル内で行う核酸抽出方法。

【請求項2】

前記吸着担体としては、陽イオン交換樹脂又はゼオライトを用いる、請求項1記載の核酸抽出方法。

【請求項3】

前記陽イオン交換樹脂としては、強酸性陽イオン交換樹脂を用いる、請求項2記載の核酸抽出方法。

【請求項4】

前記サンプルにビーズ粒子を混合し、前記超音波処理をする、請求項1～3のいずれか一項に記載の核酸抽出方法。

【請求項5】

前記物質は、前記核酸以外の夾雑物である、請求項1～4のいずれか一項に記載の核酸抽出方法。

【請求項6】

前記サンプルの超音波処理をする手順は、
前記サンプルを緩衝液で希釈し、該サンプルの超音波処理をする手順であり、
前記緩衝液のpHは、4.0～8.0である、請求項1～5のいずれか一項に記載の核酸抽出方法。

【請求項7】

前記緩衝液には、増粘剤が含まれる、請求項6記載の核酸抽出方法。

【請求項8】

前記増粘剤には、ポリエチレングリコール及び／又はヒドロキシエチルセルロースが含まれる、請求項7記載の核酸抽出方法。

【請求項 9】

核酸を含有するサンプルを導入可能なチャンネルと、
前記チャンネルの両端に電極と、
前記チャンネルを負極側領域と正極側領域とに区分けし、前記核酸を堰き止める堰止部と

、

前記負極側領域に、前記サンプルに含まれる物質を吸着する吸着担体と、
前記サンプルを超音波処理する超音波発生部と、からなる核酸抽出用カートリッジ。

【請求項 10】

前記超音波発生部は、前記電極と同一部材で構成されている、請求項 9 記載の核酸抽出用カートリッジ。

【請求項 11】

前記堰止部は、透析膜又は高分子ゲルである、請求項 9 又は 10 記載の核酸抽出用カートリッジ。

【請求項 12】

前記超音波発生部は、超音波プローブ又は超音波ホーンである、請求項 9 ～ 11 のいずれか一項に記載の核酸抽出用カートリッジ。